

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立高野小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

「自ら考え、ともに伸びていく、心豊かな子どもを育てる」  
(めざす児童像)  
・よく聞き、自分で考える子  
・話し合い、力を合わせる子  
・最後までやりぬく子

今年度の指導の重点

「しつけの徹底と学び合いの推進」  
○基本的生活習慣の定着を図る。  
○基礎的・基本的な学力の定着を図る。  
○自分を大切に、友だちを思いやる心を育てるとともに、支え合う集団を育てる。  
○家庭や地域、保育園、中学校との連携を密にし、その教育力を指導に生かす。  
<年間を通じての取組>  
○進んであいさつをしよう。 ○チャイム着席をしよう。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

<全国>  
国語・算数では、A(基礎)、B(活用)ともに、全国平均を下回っている。  
理科では、全国平均よりも下回っている。  
国語では、漢字の読み書きは、全国平均を上回っている設問もある。  
(例)読みの問題:信念:本校97.3%(全国96.0%) 承知:本校95.9%(全国92.5%)  
書きの問題:あびる:本校73.0%(全国58.4%) びょういん:本校77.0%(全国74.9%)  
主語と述語の関係、登場人物の相互関係、文章の中から必要な情報を読み取る問題や引用している言葉を書き抜く問題、で、全国平均を大きく下回っている。  
算数では、基礎的な計算、図形問題において全国平均を下回っている。  
(例)6.79÷0.8:本校60.8%(全国69.5%) 5/9-1/4:本校73.0%(全国81.4%)  
5/6÷7 :本校79.7%(全国84.2%) 時刻の問題 :本校64.9%(全国74.8%)  
理科では、メダカのおすとおめすを見分ける問題、星座の動きをとらえるために必要事項を選ぶ問題は、全国平均を上回っている。 そのほかの単元は、全国平均を下回っている。  
<県>  
国語・数学・社会・理科とも県平均を下回っている。  
3年生・4年生・5年生で学習した内容の復習が必要である。

【学習状況調査】 1.しているの児童で比較  
朝食を毎日食べている:本校78.4%(全国87.6%)  
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある:本校55.4%(全国72.9%)  
→目標(学校・学級・学校行事等で)を決めて、やり遂げる経験が必要である。  
自分には、よいところがあると思う:本校9.5%(全国36.3%)  
→友達や教師、家族から認められ、自己有用感を高めることが必要である。  
友達の話最後まで聞くことができている:本校40.5%(全国55.8%)  
→学校全体で、授業規律を徹底させることが必要である。  
地域や社会の問題に関心がある:本校12.2%(全国25.7%)  
めあて・ねらいが示されていたと思う児童が少ない。  
<テレビ等の視聴時間(平日)>  
テレビ、ゲームなどの時間が全国平均よりも長い。2時間以上の割合:本校62.2%(県58.2%)  
<家庭学習の時間>  
1日当たりの学習時間が短い、1時間以上の割合:本校54.1%(県66.1%)  
→宿題の量・質を検討することが必要である。  
<読書時間>  
1日当たりの読書時間は、おおむね県平均と同じである。30分以上の割合:本校36.5%(県38.8%)

成果と課題

<成果>  
漢字の読み書きの中には、全国平均を上回っているものもあり、日常の反復学習の成果と考えられる。引き続き、当該学年の漢字の読み書きの徹底の取組を行う。  
<課題>  
各教科とも、基礎的な問題ができていない。  
長い文章や問題文を読むことができていない。(慣れていない。)  
国語のことわざ、主語・述語の関係、読み取りの問題で依然として課題がある。  
算数では、依然として図形、小数、割合の分野に課題がある。  
社会・理科では、各単元の基礎的な内容が理解できていない。(定着できていない。)

課題に対応した改善方法

<落ち着いた学習環境づくり>  
高野小授業規律の徹底  
チャイムスタート・あいさつ・話し方・聞き方・姿勢→全校で徹底して行う  
高野小学習のスタンダードの徹底→児童主体の授業づくり  
めあてとまとめ・書く活動・学び合い・定着(何を学んだのかははっきりする授業)←魅力ある授業づくりとの関連  
<学力向上の取組>  
高野小漢字テストの実施(全校)  
計算くんぐんの実施(全校)  
朝の会での取組(全校) <ひらがな・カタカナ・九九・ローマ字・地図記号・故事成語・四字熟語・歴史人物>  
理科・社会プリント(3年生以上) <毎週末の課題>  
過去の学力テスト(4年生以上) <12月より、毎週末の課題>

取組の検証方法及び検証時期

高野小漢字テスト→上の漢字は、11月、下の漢字は2月に実施。宿題や高野タイムで反復練習→全校テスト(抽出・読み50問、書き50問) 正答率90%をめざす。  
計算くんぐん→年4回(全校で2週間程度実施)、各回の実施時期までの計算単元を網羅したプリントを作成→反復練習  
朝の会の取組→年間を通して、毎日継続して取り組む。  
について→学年末に当該学年のまとめテストを実施し、検証する。

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

今年度よりも、全国や県平均との差が縮まり、基礎学力が向上する。  
漢字の読み書きの習得率90%以上をめざす。  
基礎的な四則計算の習得率90%以上をめざす。